

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
用和小学校区は、南側は近鉄大阪線に、西側は府道八尾枚方線に、東側を府道八尾道明寺線に固まれた三角形の形をしています。校区の南端にある近鉄八尾駅は市の玄関口で、周辺は百貨店や大型商業施設などもある商業集積地となっています。 また、大型集合住宅の建設が進み、校区人口は年々増えています。	用和小学校区では、平成24年(2012年)11月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に防犯防災・地域福祉の2つの柱を位置づけ、防犯防災物品の整備充実と自主防災訓練の開催により校区住民の防災意識の向上が図られています。また、「ふれあいまつり」や「ふれあいサロン」などのイベントを通じた住民どうしの交流が促進されています。 一方、用和地区福祉委員会は、市民スポーツ祭や地域一斉清掃、一人暮らし高齢者の給食会などを開催しています。また、用和地区自治振興委員会では、定例的に用和小学校区集会所で地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。 これらの団体は、校区まちづくり協議会の構成団体ともなっており、校区まちづくり協議会と連携しながら、地域の発展のための取り組みが進められています。	用和小学校区では、災害に強いまちづくりのため防災物品の整備のほか、地域で総合的な自主防災訓練を実施し、住民の防災意識が高まりました。また、子育て支援のための親子で交流できる広場の開催や交通事故防止に向けた啓発活動にも取り組んでいます。 一方、近年大型集合住宅の建設により校区人口は増えていますが、町会加入は進んでおらず、自治振興委員会等と連携し、地域のイベント等への参加を促しながら加入促進を図っていく必要があります。	用和小学校区では、災害に強いまちづくりのため、毎年定期的な実践的な内容を取り入れた防災訓練を実施し、住民の防災意識向上に取り組まれています。 また、小学校区集会所を拠点に住民同士が気軽に集い、交流できる場づくりが進められた他、市民スポーツ祭やふれあいまつりを中心に、校区住民の結び付きを強める取り組みが進められました。	用和小学校区においては、PTAや青少年指導員、育成会など若い世代の担い手が活躍していることから、今後ともこうした人材が活動できる仕組みづくりにより、さまざまな事業への若い世代の参加を促し、継続的なまちづくりへの取り組みが可能となります。 また、校区内に商業エリアが存在することから、商店街等と地域団体が防犯や環境などまちづくりの幅広い分野での連携・協力が期待されます。 一方、校区内にはマンションをはじめ大型集合住宅が多く、校区住民との交流があまり活発でないことから、町会を通じた地域活動への参加を促し、多くの住民同士の結び付き強化を図るため、引き続き町会加入促進の取り組みを支援していく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 長池小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
長池小学校区は、南側に近鉄大阪線が通り、西側には府道八尾道明寺線が走る南北に長いエリアです。校区は府営・市営の住宅を含んだ住宅地が大半を占め、北側に一部農地を残しています。北西部の萱振町周辺は、恵光寺を中心とした寺内町の歴史があります。	長池小学校区では、平成25年(2013年)4月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、総合的な防災訓練や子育て支援のための「うさぎ教室」の開催、ふれあい交流イベントである「フェスタ長池」や「いきいきサロン」が開催されています。 一方、長池地区福祉委員会は45年以上の活動の歴史があり、市民スポーツ祭やふれあい喫茶などでは毎回多くの参加者で賑わっています。また、長池地区自治振興委員会では、定例的に緑ヶ丘コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。 これらの団体は、校区まちづくり協議会の構成団体ともなっており、校区まちづくり協議会と連携しながら地域の発展のための取り組みが進められています。	長池小学校区では、安全安心で生き生きと暮らし続けられるまちをめざして、災害時を想定した防災訓練を実施したほか、子どもたちの安全のために登下校時の見守り活動が続けられています。 また、ふれあい交流事業や一人暮らし高齢者の給食会など福祉活動にも力を入れています。 今後、高齢化が進んでいくことから緑ヶ丘コミュニティセンターや地域包括支援センター等と連携し、住民、特に高齢者が身近で気軽に相談できる機能整備を図っていく必要があります。	長池小学校区ではいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるまちをめざして、定期的に災害時を想定した防災訓練に取り組むとともに、毎年校区内危険個所に防犯カメラを設置して街頭犯罪や交通事故防止の取り組みを進めています。 また、ふれあい喫茶やフェスタなどを通じて住民どおしのふれあい交流が促進されています。 一方、子育て教室や子どもふれあいまつりなど子どもたちの健全な成長を促す取り組みも進められています。	長池小学校区においては、PTAや育成会などを中心に若い世代が活躍しており、子育て支援の取り組みをはじめ防犯・福祉等幅広い分野での活動の担い手として今後も一層の活躍が期待されます。 地域拠点においては、活動場所の提供やコミセン講座等を通じた地域力強化に引き続き積極的に取り組んでいく必要があります。また、まちづくり活動の情報発信と人材確保について地域と連携・協力をしていく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 久宝寺小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
久宝寺小学校区の北側には近鉄大阪線が、南側にはJR関西本線が東西に通り、西側には、大阪中央環状線（上部は近畿自動車道）や府営久宝寺緑地、東側には桜並木のある長瀬川があります。久宝寺は、弥生時代から中世の集落が連綿とつながる歴史のあるまちですが、特に外洋に乗り出すことのできる古墳時代の船の一部が発見され、大陸との窓口でもあったことがうかがえます。戦国時代には、本願寺第八代門首蓮如が、西証寺（のちの顕証寺）を創建し、濠や土塁に囲まれた寺内町が形成されました。	久宝寺小学校区では、多くの地域団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。また、それらの団体の多くは久宝寺地区の福祉やまちづくり等の各会のメンバーとして、多様な活動をサポートしています。その会の一つである久宝寺小学校区まちづくり協議会においては、世代間交流や安全安心を図る活動を進めており、久宝寺地区の活性化を図る活動も行っています。また、久宝寺地区福祉委員会においては、地域独自の取り組みである「何でも言わん会」の開催をはじめ、地域ぐるみで、心豊かで住みよいまちづくりを進めるためのさまざまな活動を行っています。そして久宝寺地区自治振興委員会においては、毎月、久宝寺コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	久宝寺小学校区では、地域でのパトロール、見守り活動、各種団体による啓発活動など積極的に防犯活動を進めるほか、行政と連携しカーブミラーや防犯灯の整備を行い、通学路等の安全確保などに取り組みました。その結果、街頭犯罪を抑制するなど地域住民の安全安心の確保に一定程度の成果がありました。今後の課題としては、地域全体の高齢化も踏まえて地域活動の担い手づくりを行いながら、さらなる見守り活動・健康づくり活動などの取り組みを進めていくことが必要です。	久宝寺小学校区には、久宝寺寺内町や長瀬川の桜並木など地域資源があり、桜まつりや寺内町を活用した燈路まつり、婚活活動などのイベントが実施され、歴史資産等の魅力発信につながりました。また、まちなみセンターにおいて、ふれあい喫茶や子どもの居場所づくりなども数多く実施されました。安全安心に向けた取り組みとして、町会や自主防災組織単位の防災訓練に加え、小学校と連携した防災訓練を実施されました。また、防犯関係については、自治振興委員会を中心に見守り活動やパトロールを実施されるなど、地域の安心安全を高めることができました。世代間交流については、市民スポーツ祭の他、好きやねん久宝寺まつりとして、模擬店、演芸大会などを実施されました。それら様々なイベントについて、地域内の施設への拡大や開催場所を増やすなど、世代間での交流や地域とのつながりを高めることができました。	防災について、これまでの取り組みに加え、南海トラフ地震を想定して、女性防災リーダーや消防団を中心とした防災訓練を継続的に実施できるよう支援していき、防犯関係については、パトロールの時間帯や手法について、持続可能となるよう定期的に見直していく必要があり、地域拠点として、下支えを行っていきます。地域活動を持続していくためにも、地域の担い手の発掘もかねて、スタッフの若返りや人数を確保する必要があり、既存の地域団体だけでなく、地域活動に今まで携わっていなかった企業やNPO団体などの力を借りる等、地域資源として活用できるように下支えを行っていきます。健康づくりについては、「八尾市健康まちづくり宣言」に沿った形で、地域にあった事業展開を行い、積極的に地域健康まちづくりに取り組む必要があります。誰もが利用しやすい地域拠点をめざし、ハード面の整備だけでなく、相談事業も充実し、地域住民から信頼され、慕われる中で、人が集いやすい雰囲気を出すとともに、集いやすいシステムも構築する必要があります。当該地区は、これまでも、自主的に、様々なイベントなどの事業を展開しており、子育て、健康づくりなどの相談や防災や生涯学習などの情報の提供や発信について、積極的に支援していきます。地域の魅力再発見事業を展開し、地域への関心と愛着を持ってもらいたい、地域拠点だからこそできる施策を、地域内で展開し、安心して、ここに住み続けたいという風土を醸成していきたい。

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
美園小学校区の北側と西側は東大阪市と接し、南側には近鉄大阪線が東西に通っています。校区の中央を大阪中央環状線(上部は近畿自動車道)が縦断しており、近畿自動車道建設に伴う発掘調査では、縄文時代から鎌倉時代にかけての遺構がみられました。特に美園古墳からは、国の重要文化財となっているベッド状の施設のある精巧な造りの家形埴輪が出土しました。現在は校区の西部や南部は住宅地が広がり、北部には、製造業をはじめ数多くの事業所が立地しています。	美園小学校区では、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。また、それらの団体の多くは美園地区の福祉やまちづくり等の各会のメンバーとして、多様な活動をサポートしています。地域の結束力も強く、若い世代の人々が中心となって地域活動を支えています。 美園小学校区まちづくり協議会においては、世代間交流や子育て支援の事業が活発に行われており、子どもに対する見守りを中心とした安全安心を図る活動も盛んに行われています。また、美園地区福祉委員会においては、さらに活発に高齢者支援の活動や市民スポーツ祭、住民懇談会、地区人権研修など多くの活動を行っています。そして、美園地区自治振興委員会では、毎月、久宝園集会所において地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	美園小学校区では、防犯の観点から子どもを中心に誰もが安心して住むことができるまちづくりを進めるために、市や府、警察と協力し「美園地区地域安全センター」を設置するなど、積極的に安全安心のまちづくりを推進する活動を行いました。また、子育て支援にも力を入れ、親子(または子どもたちと保護者)の集うことのできる場所が増えました。今後の課題としては、交通事故の防止のための意識づけなどを中心に、誰もが安心できる住みやすいまちをめざすため、地域のさらなる連携強化などが求められます。	美園小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、町会や自主防災組織単位の防災訓練に加え、小学校と連携した防災訓練を実施されました。更に、地区消防団を中心に訓練を実施されました。 また、防犯関係については、まちづくり協議会における見守り活動の他、更生保護女性会やPTA、青少年指導員や育成会単独による、夜間パトロールなど取り組まれており、誰もが安心してらせるまちづくりが進んでいます。 世代間交流については、市民スポーツ祭の他、ふれあい祭りとして、模擬店、ニュースポーツ体験、健康相談、また三世代グランドゴルフ大会などを実施され、地域での交流が活発になりました。 子育て支援として、野外体験学習や校庭キャンプに加え、夏休み子ども教室や土曜日のキッズ教室、放課後のマナー教室、土曜日の校庭開放として大縄跳びなども実施され、地域ぐるみで子どもたちを育むことができました。	美園小学校区では、安全安心に対する意識が高く、これまでの取り組みに加え、南海トラフ地震を想定して、女性防災リーダーや消防団を中心とした防災訓練を継続的に実施できるよう支援していき、防犯関係については、パトロールの時間帯や手法について、持続可能となるよう定期的に見直していく必要があり、下支えを行っていきます。 地域活動を持続していくためにも、地域の担い手の発掘もかねて、スタッフの若返りや人数を確保する必要があり、地域拠点として、下支えを行います。 既存の地域団体だけでなく、地域活動に今まで携わっていなかった企業やNPO団体などの力を借りる等、地域資源として活用できるように下支えを行っていきます。 健康づくりについては、「八尾市健康まちづくり宣言」に沿った形で、地域にあった事業展開を行い、積極的に地域健康まちづくりに取り組む必要があります。 誰もが利用しやすい地域拠点をめざし、ハード面の整備だけでなく、相談事業も充実し、地域住民から信頼され、慕われる中で、人が集いやすい雰囲気を出すとともに、集いやすいシステムも構築する必要があります。 当該地区は、これまでも、自主的に、様々なイベントなどの事業を展開しており、子育て、健康づくりなどの相談や防災や生涯学習などの情報の提供や発信について、積極的に支援していきます。 地域の魅力再発見事業を展開し、地域への関心と愛着を持ってもらいたい、地域拠点だからこそできる施策を、地域内で展開し、安心して、ここに住み続けたいという風土を醸成していきたい。

【総合】地域別計画 総括と展望 龍華小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
龍華小学校区は、校区の北側にはJR関西本線が、校区中央部では国道25号が東西に、校区の東部では府道旧大阪中央環状線が南北に通っており、住宅地として発展してきました。歴史的には、物部守屋厩戸皇子(聖徳太子)ゆかりの地として有名です。	龍華小学校区では、多くの地域の方々や各種団体が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。 龍華小学校区まちづくり協議会では地域の防災力向上に力を入れており、防災訓練の開催や防災倉庫の設置、防災備品の充実を図っています。また、健康に関する啓発活動として健康に関する講演会を開催するなど、多くの事業を実施しています。 龍華地区福祉委員会では、いきいきサロンやふれあいまつり、世代間交流事業などの多くの活動をサポートしています。また、龍華小学校が実施の土曜スクールにおいて、交通安全教室などの取り組みで協力を行っています。 龍華校区植松地区自治振興委員会と龍華地区自治振興委員会では、毎月、龍華コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示、地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題についての検討を行っています。	龍華小学校区では、地域の国道25号による分断や狭い道路が多いことが、交通安全上の課題となっています。八尾警察署・交通対策課などと連携した交通安全教室の開催や、地域と行政の連携による安全点検などの地域の交通安全に取り組み、安全対策の向上などの成果がありました。また、防犯講習会なども地域で取り組みました。 また、旧市立病院跡地において進められてきた新龍華コミュニティセンターと図書館の建設が完了し、平成27年(2015年)8月よりオープンしました。地域活動の拠点施設として、活用されています。 今後、さらなる地域コミュニティの活性化を目的としたふれあい喫茶などの新たな取り組みや、危機管理課・消防署などと連携した、さらなる防災意識の向上などの取り組みを進めていくことが必要です。	龍華小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、災害時や緊急時に備えて、小学校区全体で防災訓練が取り組まれています。また、国道25号線が地域内を横切ることから、交通安全教室を実施し、交通事故防止と交通安全意識の向上を図りました。 なお、防犯については、犯罪の抑止効果と児童の安全を目的に防犯カメラを新設設置し、地域で防犯活動の契機となるよう取り組みました。 また、龍華地区ふれあい祭りを関連団体と協働で開催し、地域交流と世代間交流の場づくりについて取り組みました。なお、ふれあい喫茶についても龍華コミュニティセンターで定期的に開催し地域コミュニティの活性化につながっています。 今後、さらなる地域コミュニティの活性化のため、福祉委員会や校区まちづくり協議会、地域の各種団体等と連携を図り、取り組みを進めていくことが必要です。	龍華小学校区では、今後の地域活動の担い手を確保するための取り組みを地域全体で考えていく必要があります。また、既存の地域団体だけではなく、地域の企業などと連携を行い、活動を活発化することにより、地域活動が持続可能なものにするようになります。

【総合】地域別計画 総括と展望 永畑小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
永畑小学校区は、JR関西本線の南側、龍華小学校区の東側に位置します。渋川神社の大きな楠、奈良街道をはじめ、安中新田会所跡旧植田家住宅や多くの道標、お地藏さんなど、校区内には数多くの歴史的な資産があります。	永畑小学校区では、多くの地域の方々や各種団体が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。 永畑小学校区まちづくり協議会では地域の防犯活動に力を入れており、青色防犯パトロール事業や児童の見守りを実施しています。また、自主防災組織に基づく防災の取り組み、介護予防教室やふれあい喫茶など、多くの事業を実施しています。 永畑地区福祉委員会では、ふれあいまつりや高齢者昼食会、世代間交流事業などの多くの活動をサポートしています。また、永畑小学校が実施する土曜スクールにおいて、清掃活動や平和学習などの取り組みで協力を行っています。 永畑校区植松・老原地区自治振興委員会では、毎月、龍華コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示、地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題についての検討を行っています。	永畑小学校区では、通学路が国道25号により分断されており、交通安全上の課題となっています。そこで、国道25号の横断部や他にも危険な交差点などにおいて、地域の方々が児童の見守り活動を実施するとともに、青色防犯パトロール活動の実施、八尾警察署・交通対策課などと連携した交通安全教室の開催など、地域の交通安全に取り組み、安全対策の向上などの成果がありました。また、防災訓練なども地域で取り組みました。 今後、さらなる防災対策や災害時の要援護者対応も必要とされることから、危機管理課・消防署などと連携し、民生委員の協力も得て、自主防災組織の活性化などの取り組みを進めていく必要があります。	永畑小学校区では、安全安心に対する意識が高く、国道25号線が地域内を横断することから、大阪府警や交通対策課、関係団体と連携し、主に児童を対象とした交通安全教室を実施し、交通事故の抑止と交通安全意識の向上に寄与しました。また、防犯については、児童の下校時を中心に青色防犯パトロールを校区内で実施し、防犯カメラの設置により、地域内の街頭犯罪が年々減少傾向にあります。 なお、協働の広がりによるものとして、地域内で、ふれあい祭りを開催し、関係団体との連携と地域内の交流を活発に図ることができました。今後は更に関係団体との連携を強化し、地域の安全安心なまちづくりに資する取り組みを行っていく必要があります。	永畑小学校区においては、今後、地域の担い手や活動人員を確保するための取り組みを地域全体で考えていく必要があります。 また、既存の地域団体や地域の企業などと連携を行い、地域活動を持続可能なものとする必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 大正小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
大正小学校区の南側には大和川が流れ、藤井寺市、松原市と接しています。また、西側には大阪市営地下鉄谷町線八尾南駅があり、大阪市平野区と隣接しています。大和川は、宝永元年(1704年)に付け替えが行われ、現在の流れになっています。	大正小学校区では、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。またそれらの団体の多くは、大正小学校区まちづくり協議会や大正南地区福祉委員会のメンバーとして参加し、さまざまな地域活動をサポートしています。 また、大正南地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	大正小学校区では、水防などの課題があり、地域では自主防災訓練などの取り組みがなされるとともに、地域と行政との連携により、水防活動の啓発などに取り組み、水防に対する地域の理解が深まる成果がありました。また、防犯などの課題については、地域では青色防犯パトロールなどの取り組みがなされるとともに、地域と行政との連携により、防犯灯のLED化や防犯カメラ設置などに取り組み、防犯意識の向上の成果がありました。 今後、少子高齢化になることが見込まれることなどから、福祉委員会や校区まちづくり協議会などと連携して、地域における交流の場づくりの取り組みを進めていくことが必要です。	大正小学校区では、すぐ南に大和川があることから、水防に対する課題があり、地域では自主防災訓練などの取り組みがなされるとともに、地域と行政との連携により、水防活動の啓発などに取り組み、地域理解が深まり成果となりました。一方で、大和川を地域資源としてとらえ、「大和川わんどいきもの観察会」や「大和川マラソン・ウォーキング大会」などを実施することで、地域のまちづくり、健康づくり、教育の場として役立てています。	大和川の増水による水害をはじめ、今後起こり得る災害への対策について、地域全体で考え、その仕組みづくりを行う必要があります。現在、取り組んでいる避難所運営検討会議をさらに発展させ、地域主導で実施できる体制を構築することで、持続可能な組織形成につながるものと考えております。そのため、地域拠点においては、会議運営をサポートしながら、仕組みづくりをバックアップする役割が重要であると考えます。これらの仕組みづくりが地域としてできることで、他の事象においてもその地域力により対応可能になると考えます。

【総合】地域別計画 総括と展望 大正北小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
大正北小学校区の西側は大阪市平野区と隣接しています。また、八尾空港が、小学校区の南東側にあり、中学校区の中央に位置しています。かつて同空港は現在の約4倍の敷地があり、小学校東側の府道旧大阪中央環状線は、空港敷地の地下を通り、「河内地下道」と呼ばれていました。また校区一帯は歴史的には物部氏のゆかりの地であったと伝えられています。	大正北小学校区では、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。またそれらの団体の多くは、大正北小学校区まちづくり協議会や大正北地区福祉委員会のメンバーとして参加し、さまざまな地域活動をサポートしています。 また、大正北地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	大正北小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では地域と行政との連携により、町会や自主防災組織単位の防災訓練に取り組み、防災に対する地域の理解が深まる成果がありました。また、防犯などの課題については、地域では青色防犯パトロールなどの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、防犯灯のLED化や防犯カメラ設置などに取り組み、防犯意識の向上の成果がありました。 今後、少子高齢化になることが見込まれることなどから、福祉委員会や校区まちづくり協議会などと連携して、地域における交流の場づくりの取り組みを進めていくことが必要です。	大正北小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、町会や自主防災組織単位の防災訓練に加え、小学校区全体で協力して防災に取り組もうとする動きがあり、小学校区全体で防災訓練が取り組まれるようになりました。また、防犯については、地域主体で青色防犯パトロールなどの取り組みがされるとともに、持続可能な活動を行うため、隊員確保にも取り組まれてます。 さらに、長年育成協単独で行っていた「子どもカーニバル」をまち協事業で実施することで、人やお金の面についても地域の各種団体全体で考えることができるようになりました。	大正北小学校区においては、地域活動の担い手が減少するなかで、次の担い手を確保する仕組みがないため、それら人員の確保、次世代育成について地域全体で考えていく必要があります。 また、地域拠点においても地域をサポートしていくうえで、人材確保等についてのアドバイスなどができるよう考えておく必要があります。 さらに、既存の地域団体だけでなく地域活動に事業者などとの協働も視野にいれ、地域活動を持続可能なものにする必要があります。 これら次世代育成や地域活動に係る仕組みづくりが地域としてできることで、他の事象においても対応可能になると考えます。

【総合】地域別計画 総括と展望 八尾小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
八尾小学校区は、北部を近鉄大阪線が、中央部を府道大阪港八尾線が横断しています。現在は、市役所本館および西館、図書館、社会福祉会館、水道局などの公共施設が集中するエリアですが、かつては大信寺を中心とする寺内町で、綿・木綿・肥料問屋などが並ぶ在郷町でもありました。	八尾小学校区では、平成25年(2013年)11月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、防犯・防災事業、広報事業および地域福祉事業などの取り組みが進められています。 また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、八尾小校区第一地区福祉委員会、八尾第二地区福祉委員会および八尾第三地区福祉委員会の3つの福祉委員会とそれらの構成団体により、高齢者、子育ておよび世代間交流等の地域福祉に関する事業など、日々さまざまな取り組みが行われており、秋には、3地区が一体となって、八尾小校区市民スポーツ祭が開催され、大勢の参加者でにぎわいます。 また、八尾地区自治振興委員会では、毎月、八尾小学校区集会所で地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項のほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	八尾小学校区では、校区全体としての防災への取り組みなどの課題があり、地域では、八尾小学校区まちづくり協議会の主催により、八尾小学校区防災訓練を実施するなどの取り組みがなされるとともに、地域と行政との連携により、安全・安心なまちづくりに取り組みました。各種訓練や体験等を通じて、その知識や経験が蓄積されることで、防災に対する意識の向上が図られ、災害時、緊急時の迅速な対応が可能となるなどの成果がありました。 今後、校区の人口の構成について、一層の少子化や高齢化が見込まれることなどから、八尾小学校区が一丸となり、市民活動団体などとも連携して、地域福祉活動などの支援の取り組みを進めていくことが必要です。	八尾小学校区では、校区全体としての防災への取り組みなどの課題があり、地域では、八尾小学校区まちづくり協議会の主催により、八尾小学校区防災訓練を実施するなどの取り組みがなされるとともに、地域と行政との連携により、安全・安心なまちづくりに取り組みました。防災訓練の会場では防災ポスターの審査を実施し、様々な世代に対し防災意識の向上を啓発しました。各種訓練や体験等を通じて、その知識や経験が蓄積されることで、防災に対する意識の向上が図られ、災害時、緊急時の迅速な対応が可能となるなどの成果がありました。また、災害時要配慮者に対する避難誘導の講習や同意者リストの取扱いについて議論を深め、災害時の避難行動についての体制作りを進めています。 小学校区内においては、福祉委員会等の区割りとして、三つの地域が存在することから、福祉的事業については、それぞれの地域で様々な取組みがなされている現状があります。その中で、比較的取組みが少ない未就学の児童に対して、校区住民全体の地域福祉向上の観点から、市民活動団体などとも連携して、子育て支援等の地域福祉活動を支援できるように取り組みを進めています。	八尾小学校区においては、今後も中心市街地として発展する経過の中で、地域のコミュニティが希薄化するといった課題があり、災害時などの際に、共助の力が低下していく事が懸念されます。様々な地域活動の中で地域福祉事業の取り組みを行い、地域コミュニティの醸成を図ることが重要であると考えられます。また、本庁エリアの地域拠点においては、様々な市の担当課と市民活動団体、あるいはまちづくり協議会等をはじめとする地域活動団体と市民活動団体との連携についてコーディネートしていくことによって、それぞれの団体の活動の充実につながるもとと考えています。

【総合】地域別計画 総括と展望 安中小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
安中小学校区は、八尾小学校区の南に位置し、校区南端に沿ってJR関西本線が東西に通っています。校区はやや東西に長くなっています。明治時代の鉄道開通以後、工場進出が盛んになりましたが、現在では住宅地として発展しています。長瀬川は旧大和川の本流の一つでしたが、大和川の付け替え以後には新田開発が行われ、河内木綿が栽培されていました。	平成24年(2012年)11月に設立された安中小学校区まちづくり協議会では、わがまち推進計画に基づき、校庭キャンプやふれあい喫茶、安中フェスタなど、子どもの育成や住民どうしの交流の場づくりのための取り組み、こども交通安全教室や登下校の見守り活動など、安全安心のまちづくりに向けた取り組みが進められています。 多くの地域の方々や各種団体が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。団体の多くは安中小学校区まちづくり協議会や安中地区福祉委員会のメンバーで構成されており、校区まちづくり協議会の取り組みをはじめ、市民スポーツ祭、高齢者食事会などの活動をサポートしています。 また、安中地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市からの情報伝達や依頼案件、地域での伝達事項の周知などを行っているほか、毎年、高齢者の孤立問題や地域防災などさまざまなテーマの研修を行っています。	安中小学校区では、自動車や自転車などの交通量が多く、子どもの登下校時における安全確保などの課題があり、地域では地域住民による見守り活動などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、通学路の安全点検や自転車の交通安全教室などに取り組み、安全対策の向上などの成果がありました。今後、安全で安心な地域づくりにおいては、防犯対策に加えて地域防災力の向上が重要となることから、各種団体などと連携して、自主防災組織の強化や防災訓練など防災対策の取り組みを進めていくことが必要です。	安中小学校区では、自動車や自転車などの交通量が多く、子どもの登下校時における安全確保などの課題があり、地域では地域住民による見守り活動などの取り組みが広がりを見せ、地域で子どもを見守る取り組みがされています。地域と行政との連携により、自転車の交通安全教室などに取り組み、安全対策の向上などの成果がありました。 今後、安全で安心な地域づくりにおいては、防犯対策に加えて地域防災力の向上が重要となることから、各種団体などと連携して、自主防災組織の結成の促進及び強化、防災訓練など災害時における体制づくり等、防災対策の取り組みを進めていくことが必要です。	安中小学校区では、地域活動の担い手を発掘するべく、方策を考えていく必要があります。 防災対策についても防災訓練に加え、災害時を想定した体制づくりを地域で考えていくことが必要となってきています。 地域拠点においても、地域のまちづくり活動を支援するべく、地域が課題と考えている、地域活動に興味のない方、また、若い世代への地域活動を浸透させていくための、効果的な広報活動や活動内容を工夫していくアドバイスができるよう情報収集に取り組みたいと考えています。 また、災害時に地域で取り組む活動のうち、避難所(小学校)開設時における連絡体制の整備が早期に必要と考えていることから、関係機関との調整や事例の情報収集等に取り組みたいと考えています。

【総合】地域別計画 総括と展望 南高安小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
南高安中学校区は、南高安小学校区の1つの小学校区で構成されています。 南高安中学校区は、市域の南東部にあり、校区の南側は柏原市に隣接し、大阪外環状線(国道170号)と近鉄大阪線が南北に通っています。また校区内には一級河川恩智川が南から北に向かって流れ、東側には生駒山麓が南北に連なっています。大阪府指定史跡である天王の森を中心に広がる弥生時代の大集落があり、多くの土器や石器が見つかっています。また、市指定史跡である一里塚や南北朝時代の楠木正成の家臣の一人と伝えられる恩地左近満一墓があります。	南高安小学校区では、平成24年(2012年)12月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、住民の安全・安心や地域の交流、地域での健康づくりなどの取り組みが進められています。また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、地域の多くの団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは南高安地区福祉委員会のメンバーとして参加し、地域住民参加のもと、地域一斉清掃や市民スポーツ祭などさまざまな行事が行われています。 また、南高安地区自治振興委員会では、毎月、南高安コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	南高安小学校区では、地域の健康づくりについて成人病予防会の健康に関する会報誌が発行されるとともに、地域と行政の連携による住民の健康診査の取り組みで生活習慣病の予防などの成果がありました。また、土砂災害の危険箇所があり、地域と行政が連携し防災マップの作成や防災訓練を行い、防災意識向上の成果がありました。 今後、高齢化が見込まれるなか健康づくりの取り組みが継続されるように成人病予防会などと連携し、若い世代の健康意識の向上を図る取り組みを進めていくことが必要です。	南高安小学校区では、地域の健康づくりについて成人病予防会の活動を地域拠点が支援するなど、地域と行政の連携による住民の健康診査の取り組みを引き続き支援し、生活習慣病の予防などの成果がありました。 地域拠点の再編に伴う新たな取り組みとして、地域内にある施設間の連携を図るため、小高連携による高校生が小学生を指導する環境づくりの取り組みをコーディネートし、地域の子どもたち(児童・生徒)に高校生との交流といった社会経験の場を提供することで、子どもたちの積極性やコミュニケーション力の向上など、若い力の育成につながる成果がありました。	今後、地域活動の担い手が減少していくことが見込まれる中、次の担い手が出てくる確たる仕組みもないため、活動人員の確保について地域全体で考えていく必要があります。 地域拠点においては、地域活動が円滑に進むよう、引き続き地域の支援を行うとともに、地域人材の発掘と育成について、地域に寄り添いながら共に考えていく必要があります。 また、地域拠点として、地域の独自性やニーズを把握しつつ、地域拠点が主体的に地域に働きかけ、地域に有効と考えられる取り組みがあれば、各種団体間の連携を促しながら支援したり、地域拠点の視点による独自の取り組みを進めていく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 高安中学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
高安中学校区は、中高安小学校区と北高安小学校区で構成されていましたが、平成28年度(2016年度)から施設一体型小・中学校が開校しています。地区の福祉委員会や自治振興委員会などの活動は、元より中学校区が基本となっています。 高安中学校区は、市域の東部に位置し、校区の北側は東大阪市に隣接し、東側は生駒山系の山々が連なり大阪府と奈良県との境をなしています。西側は大阪の南北をつなぐ主要幹線道路である大阪外環状線(国道170号)が南北に通っています。 校区内には国史跡心合寺山古墳を中心とする楽音寺・大竹古墳群や200基以上の古墳で形成される国史跡高安千塚古墳群があります。自然環境に恵まれ昔ながらの街なみが色濃く残っている地域です。	高安中学校区では、平成24年(2012年)11月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、AED普及啓発や防災対策として訓練や備蓄、青少年健全育成としてスポーツ大会やふれあい祭り、防犯対策として防犯カメラ設置などの取り組みが進められています。 また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは高安地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。高安地区福祉委員会は事務局制度をとっており、各地区から選出された事務局員を中心に各行事などが積極的かつ円滑に進められています。 高安地区自治振興委員会では毎月地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件のほか、地域での伝達事項の周知や課題について話し合われています。	高安中学校区では、自然災害対策などの課題があり、自然災害対策などの課題があり、地域では防災訓練や災害用備蓄などの取り組みがされるとともに、地域と行政の連携により土砂災害を想定した総合防災訓練や、ため池や水路などの調査、整備に組み込み、災害時の備えや防災意識向上などの成果がありました。また、少子化による学校の小規模化などの課題については、地域では校区全体の子どもを対象とした行事などの取り組みがされるとともに、地域と行政の連携により、施設一体型小・中学校の設置に向け、意見交換会や通学路の安全対策に取り組み、教育環境の充実や地域ぐるみの子育ての機運が高まりました。 今後、人口減少、少子高齢化が一層進行することが見込まれることから、地域内の各種団体などと連携して、自然や歴史文化、学校施設跡地などの豊かな地域資源を最大限活用した地区全体のまちづくりの取り組みを進めていく必要があります。	高安中学校区では、地形的な要因から、特に自然災害についての防災意識が高く、自主防災訓練時には、集団避難訓練を行うなど、様々な世代が参加できるように訓練内容を工夫したり、災害用備蓄品の充実などが行われております。 また地域拠点が提案した、避難行動要支援者同意者リストの活用や、北部低区配水池の施設見学、コミセンでの模擬避難所体験などにも取り組まれたことから、防災意識が高まり、避難警報発令時には要支援者への対応をとられ、自主避難所開設時には地域住民にコミセンへの避難を呼びかけられるなど、実際の災害時対応力が高まりました。 「子どもの笑顔があふれるまち」をまちづくりの目標に掲げておられることから、子どもたちといっしょに行事を開催し、将来を見据えた子どもの健全育成について継続的に取り組むことで、定住意識の向上を図りながら、住民同士のつながりを大切にされています。 平成28年度に施設一体型小・中学校が開校したことにより、地域・行政・学校の連携が進み、住民懇談会、あいさつ運動や見守り活動など安全対策の取り組みが進められました。	高安中学校区は、11の地区から構成されており、福祉活動の充実・防災・防犯の取り組みの強化・こどもの健全育成事業の実施、積極的な魅力情報発信といったまちづくりに、地区を中心として継続的に取り組んでおられます。 今後は、地域での重要なテーマについては高安中学校区として、より一層考えを深め実現していく必要があります。 そのためには、複数年にわたり幅広い分野で視野を持つ担い手(若手の起用など)の参画が必要であり、地域がそのような人材を発掘、確保、育成していくための協力を継続して行うことが必要です。 まちづくり協議会をはじめとする各種地域団体の運営や、地域のまちづくりを進めていく中で、地域でできること、地域拠点が協働できることをうまく融合しながら、地域資源を最大限活用し、高安中学校区全体のまちづくりを進めていくことが必要です。

【総合】地域別計画 総括と展望 南山本小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
南山本小学校区は、校区の北から東にかけて近鉄大阪線が通っており、河内山本駅周辺は、本市の都市核の「副次核」として位置づけています。また、府道八尾茨木線が南北に、府道大阪港八尾線が東西に走っています。駅周辺以外の地域ではほとんどが住宅地となっています。校区を流れる玉串川は、桜の名所として多くの市民に親しまれています。	南山本小学校区では、平成25年(2013年)3月に校区まちづくり協議会が創立され、わがまち推進計画に基づき、「こどもから高齢者まで世代を越えた交流のあるまち」をスローガンに、ふれあいまつりやわくわくプラザなどの取り組みが進められています。また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは南山本地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 南山本地区自治振興委員会では、毎月、山本コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	南山本小学校区では、20周年を迎えたわくわくプラザをはじめ校庭キャンプや見守り活動など地域ぐるみで子どもたちを育む活動が活発に行われるとともに、地域と行政との連携により、通学路のカラー化などに取り組みしました。 また、高齢者に対しても給食サービスやふれあい喫茶などを実施することにより見守り活動の充実につながりました。 今後、地域や各関係機関などと連携して、踏切や放置自転車を含めた駅周辺の整備や、地域防災力向上のため、自主防災組織の結成・支援などの取り組みを進めていくことが必要です。	南山本小学校区では、前期基本計画から引き続き取り組みを継続しています。わくわくプラザや校庭キャンプだけでなく、夏休みなどの長期休み時を除いて、平日の登下校時の見守り活動や青色防犯パトロールなども警察と共同して実施するなど地域の安全確保につながりました。 また、高齢者に対して、ふれあい喫茶だけでなく、原則毎月第2月曜日に手作りの給食サービスを実施しているほか、年に2度小学6年生と高齢者が給食を共にする機会を設けるなど、世代を超えた交流を進めることができました。 地域の課題の一つである近鉄河内山本駅周辺の放置自転車や踏み切り問題についても関係機関と連携して対応を検討している。 平成28年度に、地域の自主防災組織が5つ結成され、自主防災訓練を実施するなど、地域の防災力の向上につながりました。	南山本小学校区の地域活動の中心は、高齢クラブや青少年指導員などとなっている。今後の継続したまちづくりのためには、新たな担い手の発掘が急務となることから、地域全体で考えていく必要があります。 現在継続している各種見守り活動については、手厚い活動が行われているが、担い手が不足していることから、効果の高い事業などを精査していく必要があります。 また、地域のまちづくりの担い手は、現時点では地縁団体が中心になっていますが、NPOや地域の事業者と協力し、相互にまちづくりができる関係をつくる必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 高安西小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
高安西小学校区は、校区の東に大阪外環状線(国道170号)、北に府道大阪港八尾線、近鉄信貴線、西に近鉄大阪線が通っています。また、一級河川恩智川が南北に流れています。	高安西小学校区では、平成25年(2013年)2月に校区まちづくり協議会が創立され、わがまち推進計画に基づき、「みんなでつくろう わたしたちの素敵なまち」をスローガンに敬老祝寿式や恩智川こいのぼりフェスティバルなどの取り組みが進められています。また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域発展のため日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは高安西地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 高安西地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話されています。	高安西地区では高齢者への取り組みとして月1回のサロン会・食事会に加え、平成26年(2014年)からはふれあい喫茶も開催し、見守りや憩いの場所が充実しました。 恩智川清掃については年2回に回数を増やし美化の促進が図られました。 子どもの見守り活動については登下校時以外にも青色防犯パトロールや夏休み期間のパトロールなど継続して実施することができましたが、通勤・通学時に交通量が多い恩智川沿いの安全対策には課題があります。	高安西地区では、PTA会長OB等への働きかけなど、担い手の確保に力を入れ、校区まちづくり協議会の活動の持続に努めました。 地域の繋がりを強くするために、納涼祭・寒中登山・校庭キャンプ・敬老祝寿式・持ちつき大会などを開催し、多くの参加者があり地域の絆づくり貢献できました。 「子どもは地域の宝」を合言葉に、地域が登下校時の見守り活動を継続することで、子どもの安全の確保に寄与できました。一方、車や自転車の通行が多いことから、子ども達の安全のため、関係機関と協議を行う必要があります。 地域の資源である恩智川の清掃及びこいのぼりの掲揚活動を行うことで、地域の魅力発信を行うことができました。	地域の団結力が高い高安西小学校区の特色を生かしたまちづくりを続けていきたいと考えています。今後もまちづくりを担える人材確保を行いつつ、時代の流れに応じた柔軟な地域づくりをめざします。子どもたちの安全確保のため、車や自転車の通行が多いことから、関係機関との協議を継続していく必要があります。

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
志紀中学校区は、市域の南中央部に位置し、志紀小学校区の1つの小学校区で構成されています。 この校区は、校区中央部を府道八尾道明寺線が、東側にはJR関西本線と国道25号および大阪外環状線(国道170号)が南北に通っています。また、校区南側には八尾空港が存在し、その北側を一級河川平野川が東から西へと流れています。 校区には弥生時代から古墳時代を中心とした集落が広がる田井中遺跡や、古墳時代の埴輪や奈良時代の土器が見つかった弓削遺跡があります。また、小中学校の東側には府営八尾志紀住宅などの高層の住宅群が形成されています。	志紀小学校区では、平成24年(2012年)12月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、地域の安全安心に関する取り組み、幅広い年齢層の健康づくりを推進する取り組みが重点的に進められています。 また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは志紀地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 志紀地区自治振興委員会では、毎月、志紀コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などについて、また、志紀地区福祉委員会では、地域行事や地域課題などについて話し合われています。	志紀小学校区では、まず地域の安全安心などの課題があり、地域では青色防犯パトロールの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携による道路パトロールの実施などにより地域の防犯や道路の安全確保に成果がありました。また、健康づくりや子育てなどの課題については、地域では健康まつりなどの取り組みが実施され、地域の健康づくりや介護予防などの啓発に成果がありました。 今後、地域の防災への取り組みや意識高揚を図るため、関係機関と連携して防災訓練などの取り組みを進めていくことが必要です。	志紀小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、町会単位の防災訓練を行っていますが、小学校区全体で防災に取り組みたいという考えのもと、校区全体が連携して、小学校区全体で防災訓練を実施できるようになりました。 また防犯活動については引き続き、地域と行政が連携し、防犯パトロールや道路危険個所等の確認を実施したことにより、地域の防犯や道路等の安全確保に成果がありました。 また、地域の健康づくりについても、地域が自主的に取り組むことで、健康に対する意識の向上などの成果がありました。	志紀小学校区においては、今後、地域活動の担い手の減少が見込まれるが、新たな担い手を確保する仕組みもないため、地域全体で考えていく必要があります。 また、地域拠点においても地域をサポートしていくうえで、人材確保についてのアドバイスができるように考えておく必要があります。 さらには、既存の地域団体だけでなく地域活動に今まで携わっていなかった個人・企業などの力を借りる方策を考えておくことにより、地域活動を持続可能なものにするようになります。

【総合】地域別計画 総括と展望 桂小学校校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
桂小学校区の中央に府道八尾枚方線、西端に大阪中央環状線（上部は近畿自動車道）がどちらも南北に通っています。中央部には桂人権コミュニティセンター、桂青少年会館、桂老人福祉センターなどの公共施設があります。また、北部には大坂夏の陣で知られる、豊臣方の家臣、木村重成公の墓が幸第1公園内にあり、重成公を供養する木村祭が毎年6月に行われています。	桂小学校区では、平成25年（2013年）11月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき地域住民が一体となって「ふれあい給食会」、「ふれあい朝市」を運営するなど、地域課題への取り組みが進められています。また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、地域の各種団体により構成される八尾市人権から地域協議会、西郡地区協議会などの団体があり、長年、人権尊重のまちづくりを進めていくためのさまざまな活動を行うとともに、地域発展のため、多彩な取り組みを行っています。 西郡地区福祉委員会では、地域一斉清掃、給食会、市民スポーツ祭や人権学習会の開催などの活動を行っています。また、西郡地区自治振興委員会では、毎月、桂人権コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。担当区域は桂小学校全域に加え府営高砂住宅など一部北山本小学校区域も含まれています。	桂小学校区は、とりわけ地域の住環境対策として展開されてきた市営住宅群があり、その老朽化が進む一方、入居可能な世帯の条件、入居者の高齢化の進行や単身世帯の割合が高く、少子化が進展するなど、市内でも特にコミュニティバランスの崩れが進んでいることから、これまでのまちづくり支援制度等の活用に加え、地域の活性化に向け、庁内横断的な取り組みや近畿大学との連携を行う中で、活性化の手法についての検討が始まりました。一方、長年、地域とともに取り組んできた隣保事業等による助け合い・支え合いという相互扶助の伝統が息づいており、「おたがいさま」を合い言葉に地域コミュニティをつむぎ合わせるさまざまな取り組みが行われています。また、市営住宅の建て替え等に関しては、市営住宅機能更新事業の取り組みを西郡住宅まちづくり協議会と行政との協働で行い、入居者理解を得ながらの住み替えなどの成果がありました。 今後は、より一層の少子高齢化が進むことが見込まれることから、公営住宅の弾力的な運用をはじめとした多様な住環境の施策が必要となります。また、公共施設の機能更新により生み出される公共用地の有効活用を図ることが必要になってきます。	桂小学校区は、とりわけ地域の住環境対策として展開されてきた市営住宅群があり、その老朽化が進む一方、入居可能な世帯の条件、入居者の高齢化の進行や単身世帯の割合が高く、少子化が進展するなど、市内でも特にコミュニティバランスの崩れが進んでいることから、これまでのまちづくり支援制度等の活用に加え、地域の活性化に向け、庁内横断的な取り組みや近畿大学との連携により、地域の一層の活性化に取り組みしました。 また地域の若い世代と大学生ボランティアが連携した子どもの居場所づくり事業や子どもたちの学習支援事業の実施を支援しました。また、まちづくり協議会との共催で地域内住民と大学生のボランティアの参加による「はなはなマーケット」を開催し、地域内外の人々の交流が促進することができました。さらに、出張所等保健師の配置により、地域の特性に応じた健康づくりに取り組みました。	桂小学校区においては、今後は、高齢化率が非常に高く、地域活動の担い手が不足しているため、新たな地域の担い手の確保についての方策を考えていく必要があります。 また、少子高齢化が進んでいる中、地域内には各世代の地域施設が存在することから、世代間交流を促進し、より多くのひとにまちづくりに関わってもらう仕組みを作る必要があります。さらに、高齢化の進展を踏まえた健康づくりの講座の実施や健康寿命の延伸、健康を支え守る地域社会の実現に向けて、八尾市健康まちづくり宣言の発布を契機に、市民とともに健康づくりをさらに推進する環境づくりに取り組み、自治を育む地域分権の観点を踏まえ、健康コミュニティの構築に取り組んでいくことが必要です。

【総合】地域別計画 総括と展望 北山本小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
北山本小学校区の中央には玉串川に沿って府道八尾茨木線が南北に通っています。北東部には、恩智川治水緑地があり、大雨の時には河川からの洪水を一時貯留することにより浸水被害を防ぎ、平常時には運動広場として広く市民に利用されています。また、東部には古い条里制の遺構や三十八神社など歴史を探ることのできる地域があり、北西部には府営八尾高砂住宅があります。	北山本小学校区には、校区まちづくり協議会有り、わがまち推進計画に基づき「防災備品整備」、「青色防犯パトロール」などさまざまな取り組みを行っています。 また、北山本地区福祉委員会では、公民館・公園の清掃、世代間交流事業などの活動を行っています。高砂地区福祉委員会では、盆踊りやもちつきなどの世代間交流事業、子どもへの声かけ運動などが行われています。毎年北山本小学校で開催される市民スポーツ祭は北山本地区福祉委員会と高砂地区福祉委員会が毎年協力して運営し、当日は両地区の老若男女が一つになって交流し、楽しめるプログラムを行っています。 北山本地区の町会・自治会や自治振興委員会では、毎月、福万寺公民館で地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域安全パトロールの実施など地域の安全安心に向けた取り組みを行っています。また、高砂地区は西郡地区自治振興委員会に属しています。	北山本小学校区では、高齢化などの課題があり、地域では住民どうしのさまざまなふれあい活動や交流の機会を充実するなどの取り組みがなされ、地域でふれあい喫茶型サロンを開設、また、障がい者の方との合同避難訓練の実施などを支援しました。また、高齢者の見守りネットワークの整備などの取り組みがなされるとともに、地域住民による定期的な訪問活動実施などの成果がありました。 今後、一層の高齢化が進み、身近な地域での住民どうしの支えあいや地域活動はますます重要となることが見込まれることなどから、地域活動の担い手となる人材の育成を進めていくことが必要です。	北山本小学校区では、高齢化が進む中、ふれあい喫茶をはじめ、高齢者向けのさまざまなふれあい活動や交流の取り組みの支援を行いました。また、ふれあい広場、移動水族館等により、さまざまな年代の地域の人々のふれあいの促進などの成果がありました。 さらに、まちづくりテーブル事業では、小学校と大学と西郡出張所が連携し「こども夢つくり隊」を発足、ワークショップを毎年行ない「陶冶の習熟を展開する」場と機会を提供することにより、将来を担う子どもたちの地域愛を育むことができました。 健康づくりにおいては、身近な地域(出張所等)を拠点としながら、まちづくり協議会や関係機関と連携・協働し、地域の特性に応じた地域住民主体の健康コミュニティづくりに取り組みました。	北山本小学校区においては、市内でも高齢化率が非常に高い地域であるため、地域活動の担い手が不足しており、新たな担い手の確保について、いくつかの方策を考えていく必要があります。 第5次総合計画期間中においては、地域拠点としてまちづくり協議会・小学校・大学と連携し「こども夢つくり隊」を発足し、子どもの居場所、経験体験の場の提供を行うための支援や、公園の新しい使い方の検討、それに伴う公園の使い方のルールづくり等の活動の支援や調整を行ってきました。こうした地域活動の支援や調整を引き続き行い、将来を担う子どもたちが、積極的に外に出て遊ぶ中で地域愛を育めるような仕組みづくりを進めていく必要があります。 健康寿命の延伸、健康を支え守る地域社会の実現に向け、八尾市健康まちづくり宣言の発布を契機に、市民とともに健康づくりをさらに推進する環境づくりに取り組み、自治を育む地域分権の観点を踏まえ、健康コミュニティの構築に取り組んでいく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 山本小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
山本小学校区は、中央には府道八尾茨木線および玉串川が通っています。玉串川は桜の名所として多くの市民に親しまれています。山本という地名は、旧大和川の付け替え工事の後、新田開発により当地を開いた山中庄兵衛・本山重英の頭文字をとったことによるものです。	平成25年(2013年)3月に設立された山本小学校区まちづくり協議会では、わがまち推進計画に基づき、「わがまちひとつひとつつながり」をスローガンに住民どうしの絆をより一層深めるための活動などの取り組みが進められています。 山本小学校区では、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。また、それらの団体の多くは山本地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 また、山本地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話合われています。	山本小学校区では、高齢者率が市内平均に比べて高いなどの課題があり、地域では敬老祝寿会の開催などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、ひとり暮らし高齢者給食サービスなどに取り組みました。また、住民どうしの絆の強化などの課題については、地域ではふれあい喫茶の開催箇所を増やすなどの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、小学校区盆踊り大会などに取り組み、多世代交流などの成果がありました。 今後、高齢者率について一層高くなることが見込まれることなどから、各種団体などと連携して、住民どうしの絆をより一層深めるなどの取り組みを進めていく必要があります。	山本小学校区では、市内でも高齢化が進んでいるといった課題があり、地域では敬老祝寿会の開催や、地域と行政との連携により、ひとり暮らし高齢者給食サービスなどに取り組みました。また、住民どうしの絆の強化などの課題については、地域では5カ所においてふれあい喫茶を開催するとともに、小学校区盆踊り大会などに取り組み、多世代交流などの成果がありました。 山本小学校では、健康づくりのため出張健診を実施。 また、家族等の介護をしていたり、一人暮らしの男性を対象にした料理講座を実施するなど独自の取り組みも行いました。	山本小学校区は、これまでも各種団体の連携により、先進的な事業に取り組んでいるが、他地区と同様に人材不足が課題となっており、解決に向けた取り組みを行う必要があります。 また、今後、高齢者率について一層高くなることが見込まれることなどから、各種団体などと連携して、見守り活動などの取り組みを進めていく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 上之島小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
上之島小学校区は、校区の東には大阪外環状線(国道170号)が南北に通っています。また、中央には一級河川恩智川が南から北に向けて流れています。東部には工場など事業所が多く集まっており、西部では戸建ての住宅が多くなっています。	平成25年(2013年)3月に設立された上之島小学校区まちづくり協議会では、わがまち推進計画に基づき、「未来に輝け！いこいの町上之島！」をスローガンに、いくつになっても安心・安全に暮らせるまちにするための活動などの取り組みが進められています。 上之島小学校区では、多くの地域の団体や人々が地域発展のため日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは上之島地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 また、上之島地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	上之島小学校区では、高齢者の増加などの課題があり、地域では高齢者見守り活動やセミナーの開催などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、ひとり暮らし高齢者給食サービスなどに取り組みました。また、防犯・防災などの課題については、地域では登下校時の見守りなどの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、防犯カメラの設置などに取り組み、住民の防犯・防災意識の向上などの成果がありました。 今後、高齢者率について一層高くなることが見込まれることなどから、各種団体などと連携して、見守り活動などの取り組みを進めていく必要があります。	上之島小学校区では、高齢者の増加、子どもの減少といった課題に対して、ふれあい喫茶型サロンをはじめ、ひとり暮らし高齢者給食サービス、高齢者見守り活動や防犯・防災・子育てセミナーなど多くの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、防犯カメラの設置などに取り組みました。防犯・防災などの課題については、地域では登下校時の見守りなどの取り組みがされるとともに、防犯カメラの設置などに取り組み、住民の防犯・防災意識の向上などの成果がありました。 また全国的に進んでいる町会、子ども会離れを防ぐために、地域リーダー養成講座と題し、新任自治振興委員等向けの勉強会を実施、また、子ども会の良さを見直してもらおうと、体験会や校庭キャンプを実施を通して、まちづくり活動への理解促進につながりました。	上之島小学校区は、これまでも各種団体の連携により、先進的な事業に取り組まれているが、他地区と同様に人材不足が課題となっており、解決に向けた取り組みが必要と考えています。今後、高齢者率について一層高くなることが見込まれることなどから、各種団体などと連携して、見守り活動などの取り組みを進めていく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 高美小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
高美小学校区は、校区の北側は一部近鉄大阪線に接しています。東西に府道大阪港八尾線、南北に府道八尾道明寺線の2つの府道が通っており、外食産業などのロードサイド型の店舗などが連なっています。歴史的には近世八尾の都市空間を形成していた「長八尾」と呼ばれる地域であり、奈良街道から分かれて久宝寺と八尾の寺内町を経て「長八尾」を通り、再び老原で奈良街道に合流する八尾街道が南北に通っていました。	高美小学校区では、平成24年(2012年)12月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、「安全・安心のまち あたたかい、思いやりのあるまち」「住みよいまちから住みたいまちへ」をめざして、福祉事業、防犯事業、防災事業の取り組みが進められています。 また、校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは高美地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 高美小学校区の自治振興委員会は、高美南小学校区の区域を含む八尾第1地区委員会に属し、毎月、高美小学校多目的室で地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知のほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	高美小学校区では、見通しの悪い狭い道路が多いうえに、幹線道路の混雑を避けて迂回する車も多く、通学路等も危険であることから、地域では通学路、校門付近での見守り、声かけなどの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、交通安全教室の開催や高美小学校北門前の道路の車両交通規制などに取り組み、平成26年(2014年)11月には規制適用となりました。 今後は高齢化が一層進むことが見込まれることから、校区まちづくり協議会などと連携して、身近な地域で支えあう地域活動の取り組みを進めていくことが重要です。	高美小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、校区まちづくり協議会が防災備品の稼働確認や避難所体験、避難所運営ゲーム(HUG)など様々な視点に基づく防災訓練を行っているのに加えて、校区内の町会単位の自主防災組織が長年実施してきた防災訓練も校区まちづくり協議会の防災訓練として位置づけ、当該町会が長年培って来られた先進的なノウハウを他の住民も共有することにより、校区住民全体の防災に対する意識は非常に高くなってきています。 また、日々進行していく高齢化の中、平成28年度には地区福祉委員会と校区まちづくり協議会との共催で高齢者の居場所づくりのための「ふれあい喫茶」がスタートされました。	高美小学校区においては、今後、地域活動の担い手が減少するが次の担い手が出てくる確たる仕組みもないため、活動人員の確保について地域全体で考えていく必要があります。 また、地域拠点においても地域をサポートしていくうえで、人材確保についてのアドバイスができるように考えておく必要があります。 さらには、既存の地域団体だけでなくNPO等他の団体・組織の力を借りる方策を考えておくことにより、地域活動を持続可能なものにすることになります。

【総合】地域別計画 総括と展望 高美南小学校校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
高美南小学校校区は、高美小学校校区の南に位置し、南端はJR関西本線で、東側は府道八尾道明寺線で区画されています。また、地区の中央西寄りには八尾街道が通っており、その道筋にある式内社の矢作神社は秋に見事な黄葉で彩られる大いちょうでも知られています。	高美南小学校校区では、平成25年（2013年）1月に校区まちづくり協議会が設立され、わがまち推進計画に基づき、「環境が良く、住みやすい、差別のない人権尊重のまちづくり」の実現をめざして、各種事業の取り組みが進められています。 高美南小学校校区では、地域の各種団体により構成される八尾市人権安中・高美地域協議会、安中地区人権の街づくり委員会などの団体があり、長年、人権尊重のまちづくりを進めていくためのさまざまな活動を行うとともに、地域発展のため、多彩な取り組みを行っています。高美南地区福祉委員会では、給食サービス、市民スポーツ祭、美化活動などを行っています。自治振興委員会は高美小学校校区と高美南小学校校区の一部からなる八尾第1地区委員会にほぼ包含されていますが、一部安中地区委員会の区域が含まれています。八尾第1地区では、高美小学校多目的室で、安中地区では安中小学校区集会所で地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	高美南小学校校区では、一人暮らし高齢者が多く、地域では見守り活動などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、給食サービスなどに取り組みました。また、災害時の避難弱者の方々への避難誘導などの取り組みとして、地域と地域内施設、行政との連携により、障害者総合福祉センターで避難訓練などを行い、そこで障がい者理解の勉強会の必要性が示され、実施に結び付きました。 今後は高齢化が一層進むことが見込まれることから、校区まちづくり協議会などと連携して、身近な地域で支えあう地域活動の取り組みを、さらに進めていくことが重要です。	高美南小学校校区では、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯が多く、地域では校区まちづくり協議会で平成28年度に高齢者見守り推進員が組織され、日常生活や地域行事等の中で課題を抱えた高齢者を発見された場合、人権コミセンに連絡してもらい、適切な支援に繋いだケースがありました。 また、防災面では、従前から校区まちづくり協議会が中心となって災害時の避難弱者の方々への避難誘導を想定した防災訓練をされてきたのに加え、平成28年度には校区内に在住する外国人市民も多数参加し、有事の際にとるべき行動の意識共有を図りました。	高美南小学校校区においては、今後、地域活動の担い手が減少するが次の担い手が出てくる確たる仕組みもないため、活動人員の確保について地域全体で考えていく必要があります。 また、地域拠点においても地域をサポートしていくうえで、人材確保についてのアドバイスができるように考えておく必要があります。 さらには、既存の地域団体だけでなくNPO等他の団体・組織の力を借りる方策を考えておくことにより、地域活動を持続可能なものにすることになります。

【総合】地域別計画 総括と展望 曙川小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
曙川小学校区は、市域の中央部やや南寄りに位置し、西側にはJR関西本線が、また東側には大阪外環状線(国道170号)が通っています。八尾市のシンボルの一つである「八つ尾のうぐいす」がいたとされるところです。	曙川小学校区まちづくり協議会が平成24年(2012年)12月に設立され、地域の課題やまちづくりの目標を定めた「わがまち推進計画」に基づき、防災・防犯などの安全安心を中心とした取り組みをはじめ、曙川地区福祉委員会とともに、地域の発展と住みよいまちづくりの推進のため、日々さまざまな取り組みが活発に行われています。 また、曙川小学校区自治振興委員会では、毎月、曙川コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	曙川小学校区では、住宅地内の道幅が狭く、通学路における子どもたちの安全確保などの課題があり、地域において登下校時の見守り活動や地域防災マップの作成に組み込み、これにより交通事故数の減少などの効果がありました。その他、子育て支援活動、高齢者の交流事業や美化活動など豊富な取り組みを地域住民主体で行っています。 今後も数多くの事業を継続、発展させていくため、担い手をサポートする人材育成や、より多くの住民に関わっていただく取り組みを進めていくことが必要です。	曙川南土地区画整理事業が進められているが、新たな住宅地が開発され、転入者増による人口増加が見込まれています。地域では、区画整理事業と並行して、新たな町会を作ったり、通学路を検討したり、道路の安全を確認したりするなど、地域住民が中心となり、開発に伴う準備作業や新たな課題の検討を進めています。また、平成31年度に完成予定の曙川公園について、地域住民でワークショップを開き、どういう公園にするのか、管理方法はどのようなか等、話し合いを重ね、地域と行政が連携しながら公園づくりを進めています。	地域の伝統文化である「八尾木民芸つくりもん」については、地域と行政の協力のもと実施継続し、八尾市内外へ八尾の魅力として発信し魅力ある伝統文化を育み、次世代へ継承していきます。 また、子育て世代を含むあらゆる世代の方が自分達が暮らす地域の事に関心を持ち、できるだけ多くの方が地域のまちづくりに参画している状態になるように、地域活動に工夫を加える等、地域と行政の協働による取り組みを進めていくことが必要です。

【総合】地域別計画 総括と展望 刑部小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
刑部小学校区は市域のほぼ中央に位置し、邪馬台国と同じ時期の集落が広がる中田遺跡や、弓削道鏡と称徳天皇が設けた由義宮の跡と考えられている由義神社があるなど、古い歴史のあるまちです。	刑部小学校区まちづくり協議会が平成25年(2013年)1月に設立され、地域の課題やまちづくりの目標を定めた「わがまち推進計画」に基づき、防災・防犯などの安全安心を中心とした取り組みをはじめ、刑部地区福祉委員会とともに、地域の発展と住みよいまちづくりの推進のため、日々さまざまな取り組みが行われています。 また、刑部小学校区自治振興委員会では、毎月、刑部地区集会所(小学校区集会所)で地区委員会を開催され、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	刑部小学校区は、一人暮らし高齢者の増加などの課題があり、孤立しないように趣向を凝らしたさまざまな取り組みが行われました。その中でも給食サービスの会員数は八尾市内で最も多くなり、現在も増加しています。その他にも地域内のさまざまな団体、住民によって地域の発展を目標に日々、さまざまな活動が行われています。 また、同じ人が多岐にわたる事業を運営しており、担い手の負担軽減や地域全体の防犯・防災の充実を図るためにも、新たな担い手の人材育成や、より多くの地域住民に参加してもらえるような活動を進めていく必要があります。	刑部小学校区では、防災・減災対策として、町会を中心とした地域で日常的に自主防災活動に取り組んでいる。今後、一層、一人暮らしの高齢者が増えることが予想されており、地域全体で自主防災組織の充実に取り組みました。 また、交通安全・防犯に対する取り組みとして、地域住民が中心となり、通学路における「子どもたちへの声かけ運動」や、青色防犯パトロール隊による巡回などの活動が行われています。	一人暮らしの高齢者の増加傾向が続く中、災害に強いまちを目指し、自主防災組織のさらなる機能性向上に取り組み、すべての地域住民が安心して暮らせるまちづくりを地域と行政の協働により進めていきます。 また、子育て世代を含むあらゆる世代の方が自分達が暮らす地域の事に関心を持ち、できるだけ多くの方が地域のまちづくりに参画している状態になるように、地域活動に工夫を加える等、地域と行政の協働による取り組みを進めていくことが必要です。

【総合】地域別計画 総括と展望 曙川東小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
曙川東小学校区は、市域の南東部で柏原市と隣接する位置にあり、大和川の付け替えによって、天王寺屋新田と二俣新田が作られ、多くの河内木綿が栽培されました。また、かつてはたくさんの塚があり、都塚の名前が残っています。	曙川東小学校区まちづくり協議会が平成25年(2013年)2月に設立され、地域の課題やまちづくりの目標を定めた「わがまち推進計画」に基づき、防災・防犯などの安全安心を中心とした取り組みをはじめ、曙川東地区福祉委員会とともに、地域の発展と住みよいまちづくりの推進のため、日々さまざまな取り組みが行われています。 また、曙川東小学校区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	曙川東小学校区では、高齢化率の上昇に伴い健康事業が求められる中、地域が行政と連携して「うんどう教室」を開催するなど、地域の健康づくりや介護予防に向けた取り組みを行っています。 一方、地域と学校との連携によって子ども会加入率が高く、さまざまな地域活動に子どもたちや保護者が参加しており、地域活動が活発に行われています。また、平成26年(2014年)3月に曙川南土地区画整理準備組合(現曙川南土地区画整理組合)が設立され、よりよい魅力あるまちなみを創造するため、官民をあげた曙川南地区土地区画整理事業の取り組みが行われています。	曙川南土地区画整理事業が進められているが、新たな住宅地が開発され、転入者増による人口増加が見込まれる。地域では、区画整理事業と並行して、新たな町会を作ったり、通学路を検討したり、道路の安全を確認したり、地域住民が中心となり、開発に伴う準備作業や課題の検討を進めている。 また、地域のふれあいと交流、子どもの健全育成、あらゆる世代が安心して暮らせるまちづくり等に関して、地域で様々な活動が地域住民主体で活発に行われていて、まちづくりに対する意識も高く保たれています。	・曙川南土地区画整理事業に伴う発掘調査で発見された「由義寺跡地」については、史跡としての開発整備が今後どのように進められていくのか動向を見極めながら、八尾の魅力として発信し、次世代へ継承していけるよう地域住民が中心となって検討していけるよう繋げていきます。 ・曙川東小学校区では、八尾市全体と比較して少子高齢化が進んでいる地域ではありますが、子育て世代を含むあらゆる世代の方が暮らしやすいまちづくりを進め、少子高齢化対策を進めると共に、次代を担う地域住民の育成に地域と行政の協働で取り組みます。

【総合】地域別計画 総括と展望 東山本小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
東山本小学校区は、南は近鉄信貴線が東西に通り、東は大阪外環状線(国道170号)が南北に通っています。校区は大きく分けて、旧万願寺村の旧来からの集落、新興住宅街、市街化調整区域からなり、市街化調整区域を除けばほとんどが住宅地となっています。	東山本小学校区では、東山本地区福祉委員会を構成団体として、平成25年(2013年)4月に校区まちづくり協議会が設立され、「子ども達が健やかに育つ魅力のあるまちづくり」をわがまち推進計画のスローガンに掲げ、登下校見守り隊やほほえみサロン(ふれあい喫茶)、まちづくりラウンドテーブルや恩智川クリーンアップなどの取り組みが進められています。 校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域の発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは東山本地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 東山本地区自治振興委員会では、毎月、山本コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項のほか、地域行事や地域課題について話されています。	東山本小学校区では、登下校時の児童の安全確保などの課題があり、地域では登下校見守り隊などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、小学校周辺の危険箇所の情報共有などに取り組みました。 また、災害時等における課題については、地域と行政が連携し、自主防災組織による防災訓練等、地域防災力の向上に向けた取り組みを行いました。 今後も、校区まちづくり協議会などと連携して、自主防災組織の結成・支援などの取り組みを進めていくことが必要です。	東山本小学校区では、わがまち推進計画のスローガンとして「子どもたちが健やかに育つ魅力あるまちづくり」を掲げ、設立当初から子どもを絡めた取り組みや事業等継続しています。 特にまちづくりラウンドテーブルは現在も継続して行われており、地域の課題を話し合わせ情報発信し共有化を図る等の取り組みが行われております。また児童の登下校時の安全確保から設立された登下校見守り隊も各地域団体と日々連携し、更なる地域の子供たちの安全確保のために活動をしています。 学校園との連携やコラボして活用されており、土曜スクール等に地域行事を取り込み、子供たちを巻き込んだ事業を展開し、地域の活性化を図っています。 課題である自主防災についても、地域と行政が連携し、自主防災組織による新たな防災訓練のあり方等推進し、地域防災力の向上に向けた取り組みを行いました。	東山本小学校区における地域活動として、主に子どもや情報等に関する事業を考えておられ、学校園との連携を行う事業を巧みに企画・実行されており、また「子どもの居場所」等現代社会の様々な課題に柔軟に取り組んでいく方針については今後も継続していく必要があります。 ただし、今後の継続したまちづくりを推進していくためには、新たな担い手の発掘・育成が不可欠かつ急務と考えています。 また課題である地域防災に関しては、現在も当地区全体の自主防災組織の結成には至っていない。特に安全・安心を基軸とした事業は、地域間での意見交換を行い、NPO団体や地域団体とも連携する等の柔軟性も考慮に入れてながら、地域全体で検討していく必要があります。

【総合】地域別計画 総括と展望 西山本小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
西山本小学校区は、南は近鉄大阪線が東西に通っており、東側には府道八尾茨木線が玉串川と並行して南北に縦断しています。近鉄河内山本駅周辺は本市の都市核の「副次核」として位置づけており、駅周辺以外は玉串川沿いを中心に閑静な住宅街となっています。	西山本小学校区では、西山本地区福祉委員会をはじめ、多くの地域の団体等を構成団体として、平成25年(2013年)3月に校区まちづくり協議会が設立され、「みんなでつくる魅力あるわがまち」をわがまち推進計画のスローガンに掲げ、青色防犯パトロールやサロンさくら(ふれあい喫茶)、親子フェスタやまちかど等への消火器の設置などの取り組みが進められています。 校区まちづくり協議会の活動以外にも、多くの地域の団体や人々が地域の発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。それらの団体の多くは西山本地区福祉委員会のメンバーとして参加し、福祉委員会の活動をサポートしています。 西山本地区自治振興委員会では、毎月、山本コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項のほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	西山本小学校区では、玉串川のさくら再生などの課題については、地域では沿道樹木の日常管理などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、まち歩きなどに取り組み、枯損木の伐採、さくらの植樹などの成果がありました。 また、近鉄河内山本駅周辺での交通安全対策などの課題については、今後、一層高齢化社会となることが見込まれることから、地域や大阪府、鉄道事業者などと連携して、安全で魅力ある駅周辺整備などの取り組みを進めていくことが必要です。	西山本小学校区では、わがまち推進計画のスローガンである「みんなでつくる魅力あるわがまち」を旗印のもと、設立当初からの取り組みや事業等継続して行っており、特に安全・安心に力入れ、青色防犯パトロールは年間相当な距離を巡回する等、地域の安全・安心に寄与できました。また平成28年度には自主防災組織結成10周年を迎える等、更なる地域の安全確保のために日々活動をしています。さらに、サロンさくらや敬老祝寿会等、地域の繋がり・絆づくりとしての活動も盛んで、特にサロンさくらは他地域からも参加される程、非常に活気のある活動が展開されるなど、人のふれあいや交流の促進につながっています。 課題である近鉄河内山本駅周辺整備や玉串川桜再生事業等については、今後も関連機関及び部局と連携して対応していきます。	西山本小学校区における地域活動は、地区福祉委員会が中心で動いていますが、特に安全・安心を基軸とした事業は、現事業内容の構成を含めた精査を行い、マニュアル策定等次の展開について、地域全体で検討していく必要があります。また、認定子ども園整備に伴い、公立幼稚園が休園となる等、少子化の影響により、子どもに関する事業が少なくなっています。更に地域活動を担う方々の高齢化にも拍車がかかっており、次世代の担い手の確保が急務なことから、子どもを絡めた事業をNPOや地域事業者と連携する等の柔軟性も考慮に入れての事業展開が必要であります。

【総合】地域別計画 総括と展望 竹湊小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
竹湊小学校は「たこちしょうがっこう」と読み、また、竹湊神社に「たこち」の名称が残っています。「竹湊」という名の由来は、東征中の神武天皇が大和の豪族である長髓彦に追われた際に身を隠し難を逃れたのが、この地にあった大竹藪の湊であったことに由来すると言われています。	竹湊小学校区では、多くの地域の方々や各種団体が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。竹湊小学校区まちづくり協議会では、わがまち推進計画に基づいた青色防犯パトロールカーによる見守り活動やふれあい喫茶、てづくり教室などを実施しています。 福祉委員会では、市民スポーツ祭や一人暮らしの高齢者を対象としたふれあい給食サービスなどを実施しています。 また、竹湊地区自治振興委員会では、毎月、竹湊コミュニティセンターで地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	竹湊小学校区では、より安全安心のまちづくりをめざしており、地域では、青パトの見守り活動、防災訓練の実施などの取り組みがされているとともに、地域と行政との連携により、防犯カメラの設置、AEDなどの研修会を実施し、地域内での防犯・防災意識が向上しました。 また、高齢者の孤立化などの課題があり、地域では高齢者昼食会、ふれあい喫茶などの取り組みがされているとともに、地域と行政との連携により、高齢者の移動の利便性を図るための公共交通問題のアンケート調査を実施し、基礎データの収集、分析などに取り組みました。 今後、高齢化が一層進むことが予想されるため、竹湊小学校区まちづくり協議会などと連携して、高齢者の支援などを進めていく必要があります。	竹湊小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、町会や自主防災組織とまち協が協力し防災訓練を行い、小学校区全体で協力して防災に取り組まなければならないという意識がより高まりました。また次世代の育成のために、中学校の生徒にも防災訓練の参加を呼びかけ、いろいろな世代で防災訓練が取り組まれるようになりました。また、防犯については引き続き地域主体で青色防犯パトロールなどの取り組みがされるとともに、持続可能な活動を行うため、隊員確保にも取り組まれています。 さらに、地域の世代間交流や健康づくりの意識向上のために、まち協が主体となり、カローリングなどのニュースポーツをお行っています。人やお金の面についても地域の各種団体が主体となり考えています。	第5次総合計画期間においては、地域色を考え、様々な事業を行ってきたが、今後は、地域の特色を生かし、継続して地域の発展が可能な事業を選択し、集中することで、若年層も巻き込み、地域活動が継続的に行えるような、環境を整えていきます。

【総合】地域別計画 総括と展望 亀井小学校区

地域の概要	地域力	前期基本計画の総括	後期基本計画の総括	6次に向けた展望
亀井小学校区は、北側にあるJR関西本線久宝寺駅を中心に「新都市核」と位置づけており、また一方で奈良街道も通っているなど、新しく開発されたまちと昔からのまちなみが共存する校区です。JR関西本線久宝寺駅周辺の区画整理では、多くの古墳や集落の跡が見つかっており、さらに、近畿自動車道周辺の調査では、近畿を代表する弥生時代の大集落があることが分かりました。	亀井小学校区では、多くの地域の方々や各種団体が地域発展のため、日々さまざまな取り組みを行っています。亀井小学校区まちづくり協議会では、わがまち推進計画に基づき青色防犯パトロールカーによる見守り活動や地域フェスタ、防災訓練などを実施しています。 亀井地区福祉委員会および亀井小学校東地区福祉委員会では、いきいきサロンなどの小地域ネットワーク活動や一人暮らしの高齢者を対象としたふれあい給食サービスなどを実施しています。 また、亀井地区自治振興委員会および龍華地区自治振興委員会では、毎月、地区委員会を開催し、市から依頼を受けたチラシ回覧やポスター掲示などの案件や地域での伝達事項の周知などのほか、地域行事や地域課題について話し合われています。	亀井小学校区では、開発等による、通学路や防犯・防災などの課題があり、地域では、定期的な防犯パトロールや防災訓練の実施などの取り組みがされるとともに、地域と行政との連携により、通学路の安全対策や研修会の開催などに取り組み、住民の防犯・防災意識が向上しました。 また、人口増加に伴い、居住する人たちの地域コミュニティ活動への参加をめざし、地域では市民スポーツ祭への新たな住民の参加を促すとともに、地域と行政との連携により、町会加入の促進などに取り組み、新たな自治会の発足などの成果がありました。 今後、一層児童の増加が見込まれることなどから、学校などと連携して、通学路の安全対策や地域の見守り活動などの取り組みを進めていくことが必要です。	亀井小学校区では、安全安心に対する意識が高く、防災面では、町会や自主防災組織とまち協が協力し防災訓練を行い、いち早く地域の避難所マニュアルを作成し、研修会や講習会を定期的に行いながら、小学校区全体で協力して防災に取り組んでいます。また、防犯については引き続き地域主体で青色防犯パトロールなどの取り組みがされるとともに、持続可能な活動を行うため、隊員確保にも取り組まれています。 さらに、地域の世代間交流や健康づくりの意識向上のために、子育てひろばや地域フェスタ、敬老演芸大会といったような幅広い住民参加型のイベントを行い、人やお金の面についても地域の各種団体全体で自主的に行っています。	第5次総合計画期間においては、地域色を考え、様々な事業を行ってきたが、、今後は、地域の特色を生かし、継続して地域の発展が可能な事業を選択し、集中することで、若年層も巻き込み、地域活動が継続的に行えるような、環境を整えていきます。